

杉原健一先生 記念号によせて

杉原健一先生のご退職にあたり、岐阜協立大学学会として、記念号を作成することになりました。

杉原先生は名古屋大学大学院工学研究科を修了され、工学の博士を取得されています。本学経営学部では、コンピュータ科学基礎やアルゴリズムとデータ構造、システム開発論といった情報系の専門科目を主に担当いただきました。近年の研究では、情報科学の分野でも、GIS（地理情報システム）やコンピュータ・グラフィックスを駆使して、3次元のモデルをつくれる技術の研究をされていらっしゃいました。より具体的には、3次元モデルを自動生成させる技術を研究されていると聞いています。まったくの専門外で理解はできていないのですが、デモンストレーションを拝見したことがあり、都市の姿が3Dで作られていくのは素晴らしいと感じました。結果だけ拝見すると、ただ見事だなと感じるだけですが、そうしたことを実現させていく技術的な土台となる部分を研究開発されていたというふうな素人ながら理解させていただいていました。こうした知見は社会的にも求められ、地域の方と共同で研究されることも度々あったと承知しております。

研究活動、学会活動もきわめて熱心で、査読付論文を毎年、専門の学会誌等に発表されていらっしゃいますし、学会発表も多く、また、海外の研究者とも共同研究をされ、英語での論文発表が多いことも、文系中心の本学の中では、抜きんでていらっしゃいました。こうしたことから、岐阜協立大学はもっと研究活動を活性化しなくてはならないと、度々ご指摘され、ご意見を頂戴していたところです。

先生が退職されると、本学から発信される学術研究が大きく減少してしまうのではないかと心配するところでもあります。こうした貴重な活動をされてきた先生が退職されることは残念なことであります。元気旺盛な先生でいらっしゃるのです、退職後も共同研究の研究者の皆様と研究と発表を続けられるものだと思います。健康に留意され、ますます御活躍されることを祈念いたします。

岐阜協立大学学長 竹内治彦
岐阜協立大学学会会長